



1学期に実施された
学習の様子と
子供たちの感想を
紹介します。

2年 鮎の稚魚放流体験

●庄川河川敷

4月23日(月)に、庄川で鮎の稚魚放流を体験してきました。一人一人が小さな鮎をバケツに受け取り、庄川に放ちました。

この体験を通して、地域の自然に親しみ、稚魚に宿る尊い命の大切さについて考えることができました。

子供たちの感想より

- 「元気でね、行ってらっしゃい」と言いました。鮎は、思っていたより大きくて元気だったけれど、海まで泳いで行くのは大変だと思いました。



- バケツで3回放流できました。鮎は、はじめにひれだけが動いて固まっていたけれど、川に流してやると、ジャンプして元気よく泳いで行きました。



5年 校外学習

●北日本放送
●富山県美術館

5月8日(火)に、富山市へ校外学習に行きました。

北日本放送でテレビやラジオ放送の仕事を見学したり、富山県美術館で、「デザイン『あ』」の特別展示を鑑賞したりしました。

子供たちの感想より

- テレビ局は、朝早くから仕事をしていて驚きました。時間どおりに放送ができるように準備をしなければならない大変な仕事だと思いました。

- 富山県美術館では、「デザイン『あ』」のデザインを体験できて、とても面白かったです。KNBでは、ラジオに出演だったので、とてもうれしかったです。

4年 校外学習

●高岡消防本部 ●二上浄化センター



5月31日(木)に、校外学習で、高岡消防署と二上浄化センターに行きました。高岡消防署では通信指令室や様々な消防設備を見学し、わたしたちの生活が火事からどのように守られているのかを学習しました。二上浄化センターでは、使った水を浄化する仕組みを見学し、水を繰り返し使う工夫を学びました。

子供たちの感想より

- 35メートルものびるはしご車やポンプ車、救助工作車、救急車の中の設備等を実際に見ることができました。一つ一つに大切な役割があり、協力しながら素早く対応していることが分かりました。
- 大切な水が繰り返し使えるのは、浄化センターで使った水をきれいにして、川や海にもどしているからだと分かりました。だから、わたしたちは、安心して水を使うことができるのだと思いました。
- 二上浄化センターで、ごみを食べる微生物を顕微鏡で見ました。とても小さいけど、水の汚れを食べてきれいにする役割を果たしていることに驚きました。



1年 校外学習

●富山市ファミリーパーク



6月8日(金)に、校外学習で、富山市ファミリーパークへ行きました。生まれたばかりの動物や親に寄り添う動物の仕草を見て、「かわいい!」と歓喜の声をあげたり、動物の秘密や生態を知って驚いたりするなど、楽しく動物に親しむことができました。

また、芝生広場では色団の友達とお弁当やおやつを見せ合い、会話を楽しみながら食べたり、元気にアスレチックで遊んだりしました。友達や動物と仲よく一日を過ごすことができました。

子供たちの感想より

- くまさんが寝ていました。立ち上がったら、お父さんやお母さんよりも大きかったので、びっくりしました。
- キリンの舌が紫色でびっくりしました。
- バイソンは大きくてかっこよかったです、サルの赤ちゃんが小さくて、とてもかわいくかったです。



3年 校外学習

●高岡市名所巡り



6月20日(水)に校外学習で、伏木港・高岡大仏・おとぎの森公園・新高岡駅等、高岡市の名所を巡りました。知っているようで知らなかった高岡市のよさを再発見したとともに、高岡の山や川、平野等の土地の様子や土地の使われ方を実際に見て学びました。おとぎの森公園では、青空の下、友達と会話を楽しみながらお弁当を食べたり、元気に遊具で遊んだりしました。

子供たちの感想より

- 校外学習で、高岡市のどの方位に何があるかを学びました。例えば、北には伏木港という港があります。港の近くには工場がたくさんありました。車を海外に運ぶ船も港にとまっていました。
- 教科書では分からぬこと、もっと詳しく知りたかったことを実際に見て見たり学んだりすることができて、とてもよい勉強になりました。

